

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の中でその人らしく暮らす事を支えるケア」を具体的にイメージし”慈愛の心” ”尊厳を守る” ”お客様(入居者様)第一主義を基本理念に掲げ地域密着サービスとしての意義を職員全員で検討し、業務を行っている。	○	事業所全体で、地域密着サービスとしての理念とは何かを考え、地域の中で我々が行う事が出来る事を具体的に検討し、実践する事でより理解しやすい理念となると思われる。
2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、活力朝礼を行い、理念の唱和を全員で行っている。	○	全職員が毎日必ず理念の唱和を行い、理念について理解を深める様に努力する。
3	○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ブログ・ホームページや毎月発行の社内報を用いて、ご家族様・関係者等への広報活動を通して、理解を求める。		
2. 地域との支えあい				
4	○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域住民の方々に施設見学やボランティア活動・毎月のイベント等への参加の依頼を通して交流を深め、又、地域の行事にも積極的に参加させていただいている。		
5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域町作り推進協議会の会員となり地域活動に積極的に参加している。又グループホームの運営推進会議にも参加して頂いている。	○	入居者様が安心して参加できる環境整備を整えたい。

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域町作り推進協議会の行事等に積極的に参加している。	○	入居者様が安心して参加できる環境整備を整えたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各評価を通して実践の有無を再確認することで改善項目に対して早急に適切な改善を行うように考えている。	○	より良い施設運営を目指し業務の見直しを含めた取り組みを行っている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日頃の活動内容については、口頭で説明を行うと共に、写真等での記録を添えて説明を行っている、又ご出席頂いた関係各位の要望、希望を汲み取り改善するよう努めている。	○	お互いの距離を無くし、些細な要望、希望を言って頂ける関係を作り、互いに意義のある推進会議にしたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センターの職員を運営推進会議に参加して頂き交流を深めている。	○	他施設での良い点を取り入れより良い施設運営を目指す。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市町村が開催する研修会や社内研修会に参加し、家族等にはパンフレット等を用いて家族会の際にお伝えしたり、質問には随時お応えするようにしている。	○	現状として、一部のスタッフしか理解できていないので、全員が等しく理解するよう、勉強会等を行っていききたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	基本理念である「慈愛の心」「尊厳を守る」「お客様第一主義」を終始徹底して指導し、その人らしく生活できる様、常に心掛けるようにしている。	○	グループホーム内での勉強会を実施して、全職員の理解を深めたい。

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約の際に、退去事例「他者に対しての暴力行為」等を充分説明し、理解を得るようにしている。		
13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	担当職員制度を実施しており、入居者様・職員・家族間の馴染みの関係作りを行い、些細なクレーム程見逃さない様になっている。	○	ニーズを聞くと同時に安心して生活して頂ける様、対応に努めたい。
14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	行っている。	○	預り台帳のコピーを毎月家族に送付すると共に、預かり金が不足した場合には家族に早急に連絡を行うようにしている。
15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	担当職員制度を実施しており、入居者様・職員・家族間の馴染みの関係作りを行い、些細なクレーム程見逃さない様になっている。	○	ニーズを聞くと同時に安心して生活して頂ける様、対応に努めたい。
16	○ 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、職員会議を開催し、職員の幅広い、意見・要望・提案に対して、検討・対応・改善を行っている。	○	ニーズを聞くと同時に安心して生活して頂ける様、対応に努めたい。
17	○ 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要に応じた職員配置・勤務調整を行っている。	○	人員配置基準以上の職員配置を実施している。
18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	必要に応じた職員配置を行い、複数のスタッフがなじみの関係を作る様にしている。	○	職員の定着率を高める為、労務管理には特に配慮している。 又、個人的な相談も、しやすいような雰囲気作りをしている。

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○ 人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。	実施している。	○	職員の定着率を高める為、労務管理には特に配慮している。又、個人的な相談も、しやすいような雰囲気作りをしている。
20	○ 人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。	実施している。	○	施設基本理念を通して職業倫理指導していきたい。
21	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実施している。	○	より多くの研修に積極的に参加できるよう配慮していく。
22	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括センターの職員を運営推進会議に参加して頂き交流を深めている。	○	他施設での良いサービスを取り入れ、より良い施設運営を目指す。
23	○ 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員誕生会、新入社員歓迎会を家族参加型で実施している。		

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○ 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年3回人事評価を実施している。	○	適切な総合評価が受けられる様に現場評価を実施している。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の意向より、本人が幸せに過ごせるか否かを考え本人らしさを大切にできる施設作りを目指している。	○	その人"らしさ"を大切に個別ケアを目指していく。
26	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	まず、見学していただき、実際の入居者様の生活を見ていただきながら、生活相談を受ける様に心掛けている。	○	入居されるご本人様にも可能なかぎり、見学の同行をお願いしている。
27	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様の立場に立って尚且つ、必要性の有無を検討しアドバイスしている。	○	入居されるご本人様にも可能なかぎり、見学の同行をお願いしている。
28	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まず、見学していただき、実際の入居者様の生活を見ていただきながら、生活相談を受ける様に心掛けている。 (お茶や食事の時間を共にする事で、入居者様同士で馴染みの関係になっている)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に過ごすという事を根本から考え、互いにかげがえのない相手となれるような関係作りを行うと共に生活リハビリを実施している。	○	行事イベントを行い、家族様には、積極的に参加して頂く様にお願いしている。

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に出来るだけ面会に来てくださり、外出・外泊を実施して頂ける様にお願いしている。	○	施設でご家族様にも一緒に食事をして頂いたり、外出レクにも参加して頂ける様にしていきたい。
31	○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時に生活相談を実施し絆を深めるように心掛けている。	○	ご入居後、速やかに穏やかな生活をして頂く様に心がけ、ご家族にも安心していただける様に関わって行きたい。
32	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ご家族様に出来るだけ面会に来てくださり、外出・外泊を実施して頂ける様にお願いしている。	○	施設でご家族様にも一緒に食事をして頂いたり、外出レクにも参加して頂く機会を多く取り入れて行きたい。
33	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	共同生活の雰囲気作りを心掛けている	○	共同生活の中で、役割分担を行い共同作業を行う雰囲気作りを実行し共に支え合って過ごす場面を多く作って行きたい。
34	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院、退去された方への継続的な面会を行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中から意向を汲み取り実行できるように取り組んでいる。	○	日常生活観察の情報を多く集め本人らしい生活が実現できるように努めたい。

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様からの聞き取りとご本人様の日常会話の内容をつき合わせてその人らしい生活が出来るように努める。	○	共同生活を行う上でその人"らしさ"を大切に個別対応を行って行きたい。
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	担当職員制度を用いて、現状の把握及び各職員への情報の共有を図っている。	○	健康的で安定した生活を継続出来るように、努めて行きたい。
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン作成時、モニタリング評価時、ご本人様ご家族様に要望や意見、提案を伺い、介護計画に反映している。尚、医療機関とも連携を図り、往診受診及び受診同行時ドクターにご意見を伺いより良いプラン作成を目指している。	○	各方面の方々のご意見を伺いプランに生かして行きたい。
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご本人様・ご家族様・管理者・ケアマネジャー・計画作成担当者・介護職員・医療関係者と連絡調整して対応している。	○	ご本人様の希望は何か、真意はどうか、日々の様子観察を行い、その方らしい生活、望まれている生活を支援出来るプランを目指す。
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個人記録を把握して全職員が統一した認識の基、情報の共有化を図っている。	○	より具体的に、より理解しやすい記録の記載をするように職員と協議して行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	定期外来受診等、要望に出来るだけ合わせて行っている。	○	要望に対応できるような職員配置を維持継続して行きたい。

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	避難訓練や福祉センターでの研修、地域での祭りへの参加等、入居者参加型で行っている。		
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	さわやか倶楽部のケアプラン委員会、系列グループホームの連携を図っている。	○	社内の連携だけでなく、地域の中のグループホームと連携を図り、さまざまな情報を収集しようとしている。
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターでの会合にも参加している。	○	今後も権利擁護やマネジメントの質の向上の為、支援センターに協議の場を多く持ってもらう様に要望していく。
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日々、健康管理には、充分配慮しつつかかりつけ医との連携を図っている		
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて受診したり、年1回定期受診をおこなっている。		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	入所前の生活相談員等と必要に応じて情報交換を行っている。		

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○ 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ソーシャルワーカー等と必要に応じて行っている。	○	入院等にならないように、健康状態を把握して異常の早期発見に努めたい。
49	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人様・ご家族様の意向を重視して必要に応じてカンファレンスを行い、又かかりつけ医との話し合いを行う。	○	適切な判断が出来るように看護師の着任を検討している。
50	○ 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	職員が出来る関わりの限界を話し合い、ご本人様・他入居者様にとって最善の手段・方向性を判断するようにしている。	○	適切な判断が出来るようにかかりつけ医との打ち合わせや看護師の着任を検討している。
51	○ 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	そういったケースが発生した場合、外出、外泊を重ね、住み替えの施設に馴染むようにしていく。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
52	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	いかなる処遇であれ、その人らしさを大切にしよう指導している。		

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	生活リハビリを通じて、目標を持った生活を送っていただけるようにしている。	○	過剰介護にならないように努めていきたい。
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人の意思を尊重し希望に添える様に努めている。(就寝・起床誘導は基本的には行わない等)	○	個人の希望に更に添える様にしていきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご家族の協力をお願いしている。毎朝の活力朝礼には、お化粧をして参加されている方もいらっしゃる。又、日常的な食材の買い物等にも積極的に同行していただいている。		
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	生活リハビリの一環として、おやつ作りや昼食作りを職員と一緒に楽しく実施している。		
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	行っている。		
58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	極力、トイレでの排泄を基本にしている。便器ポータブルトイレの使用は基本的には行わない。		

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	衛生上問題が生じない限り、本人の意思に合わせている。	○	入浴時間について、更希望に添える様にしていきたい。
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お一人お一人の意思を尊重し希望に添える様に努めている。(就寝・起床誘導は基本的には行わない等)		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活リハビリを通じて、目標を持った生活を送っていただけるようにしている。	○	役割を持って頂き、はりのある生活を送っていただきたい。
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失してもかまわない程度の金額を所持していただき、買い物の際にお好きなお菓子等の購入をして頂いている。		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・園芸等、各入居者様の希望に沿った外出を日常的に行うようにし、戸外への誘導を行っている。		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月、イベント食やおやつ作り、フロアー単位でのドライブや買い物・お食事等又、少人数でも実施している。		

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて電話の取次ぎや、はがき出しを行っている。又、家族の方に対しては、出来るだけ、面会や電話などの依頼もしている。		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ソファ等を設置し、くつろいで面会していただける環境作りを行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	行っている。		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的に、日中の施錠はしないようにしているが、入居間もない方がおられたり、事故が予測される場合には、施錠する場合もある。又、17:00～翌9:00までの間は施錠している。	○	できる限り、施錠しない施設を常に目標とし、職員のスキルアップに努めている。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	危険行為がないかぎり、行動の制限等は行わないが、見守り、様子観察は常に行うようにしている。		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	日常は、普通に設置しているが、必要に応じて、保管している。		
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止マニュアルを設置して事故防止の意識を高めると共に、万一、事故が発生した場合、事故報告書・ヒヤリハット等を回覧し再発防止に努めている。		

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に(年2～3回)訓練を行っている。		
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に(年2～3回)訓練を行っている。		
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	必要に応じて、ご家族様に説明し理解を頂いている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	医療関係申し送りノートを活用して、情報の活用に努めている。		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療関係申し送りノートを活用して、情報の活用に努めている。		
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	朝食にヨーグルト、昼食・夕食に寒天を毎日提供している。出来るだけ薬に頼らず、食物で排便を促すよう工夫している。		

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	訪問歯科を受診して医師の指示に従い衛生管理を実施している。		
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	行っている。		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	行っている。		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	基本的に2日おきに食品の買出しを行い、台所や調理器具はアルコール消毒を行い、食器類は食器乾燥機にて、強制乾燥処理をおこなっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にはバラをはじめ多くの花で飾っている。駐車場入り口にはひかり農園を作って、野菜・花をつくっている。		
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に生花を欠かさないよう、にして穏やかに過ごしていただける様に工夫している。		

グループホーム ひかり

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル・ソファを設置している。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご家族様に提案している。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	実施している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	グループホーム用に設計されている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各個人の能力に合わせた生活リハビリを実行している。		
89	建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	気候の良い時は外で、ティータイムを楽しんで頂いている。ベランダにはプランター植木等を置いて季節の草花を楽しんでいただいている。		

グループホーム ひかり

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が
		○	利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が
		○	利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		ほぼ全ての家族と
		○	家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

グループホーム ひかり

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
		○	たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
		○	少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホームひかりでは、希望される入居者様を対象に温泉一泊旅行を実施しています。毎月の合同お誕生日会や各種合同イベントとして、おはぎ作り・餃子作り・ピクニック・バーベキュー等、又個人対応として、裁縫・活け花・フラワーアレンジメント・畑仕事等行っています。お掃除等は入居者様と職員が合同で行い、いつも清潔にしています。毎朝、入居者様主体の活力朝礼を生活リハビリとして行っています、その中で計算や漢字読み、クイズ、発声練習、体操等を行い、毎朝の活力をつけています。活力朝礼を行ってから、風邪を引く方が少なくなりました。生きがいを見つけて頂く事が私たちの希望です。